

製品安全データシート

作成: 2001年11月29日

改訂: 2012年04月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	エンベディウム
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL: (078) 991-1911 (代表) FAX: (078) 991-1917

2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載	
物理化学的危険性	
可燃性固体	区分できない
健康に関する有害性	
目に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分できない
環境に対する有害性	該当しない
GHS ラベル要素	
GHS 絵表示	なし
喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	固体 (ペレット状)
危険有害成分	
化学名又は一般名 濃度 (範囲)	パラフィン (99% 以上)
化学式	C_nH_{2n+2}
CAS 番号	8002-74-2
労働安全衛生法政令番号	別表第9-171
PRTR 法政令番号	情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	ワックスの煙霧・蒸気を吸引して気分が悪くなった場合、直ちに新鮮な空気を吸引させて安静にする。呼吸が止まっていた場合は、気道を確保して人工呼吸を行ない、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。溶融時は先ず、接触部位を水で良く冷やすこと。
目に入った場合	固体での取扱では問題発生が少ない。溶融時での取扱では火傷の可能性があるため、清浄な流水で、15分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。
飲込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護	特に必要ない

5. 火災時の措置	
消火剤	初期火災には粉末あるいは炭酸ガス消火器が有効である。大規模火災の際には泡消火器が有効である。注水は火災を拡大し危険な場合がある。周囲の設備は散水して冷却する。消火作業の際は保護具を着用し風上から行なう。土、砂、泡、ドライケミカル、炭酸ガス。棒状注水は厳禁。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	通常は、板や紙などで掬って集める。熔融時は、着火源を遠ざけ、冷えるまで待つ。量が多い場合は、土や砂をかけて冷やす。冷却・固化後、適当な防護具／服を着けて回収する。
環境に対する注意事項	情報なし
封込め及び浄化の方法・機材	情報なし
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱	
技術的対策	正しく測定するために添付文書をお読みください。
安全取扱い注意事項	眼または皮膚に触れないように適切な保護具を着用する。炎・火花・高温体・強酸化剤と接触させない。容器を転倒させたり衝撃を加えたりしない。熔融時、長時間の加熱や銅・銅化合物との接触を避ける。
保管	
適切な保管条件	密栓して冷暗所に保管する。酸化性物質・有機化酸化物と同一場所に保管しない。
容器包装材料	情報なし
8. 曝露防止及び保護措置	
管理濃度	情報なし
許容濃度	情報なし
A C G I H	ワックスの煙霧・蒸気として：2mg/m ³ (TWA), 6mg/m ³ (STEL) オイルミストとして：5mg/m ³ (TWA), 10mg/m ³ (STEL)
設備対策	全体換気扇を設置した施設で作業する。また、作業場所近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸の保護具	特に必要ない
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣、防塵マスク等
9. 物理的及び化学的性質	
物理的性状、形状、色など	白色の固体（ペレット状）
臭い	—
着火点	210℃
発火点	245℃
融点	56～58℃
比重（相対密度）	約 0.77
溶解度	アルコール、エーテル、BTX に可溶。水に不溶
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の手取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	情報なし

避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
11. 有害性情報	
急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	眼刺激性：ウサギで slightly or mild irritant とされるが、本品はペレット状であり、区分できないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	情報なし
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	投棄禁止。少量の場合は焼却炉で焼却する。大量の場合、認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
14. 輸送上の注意	
国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	輸送危険物に該当しない
国際海上危険物規則	輸送危険物に該当しない
国内規制	
陸上「鉄道／道路」	火災予防条例に従うこと
内陸水路	輸送危険物に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。
15. 適用法令	
適用される法規制	労働安全衛生法（名称等を通知すべき危険物、施行令第18条の2別表第9-171）、消防法（指定可燃物、可燃性固体類、危規令別表第4）、水質汚濁防止法（油分排出規制 許容濃度5mg/L）、海洋汚染防止法（油分排出規制 原則禁止）、下水道（鉱油排出規制 5mg/L）、廃棄物処理法（産業廃棄物規制 拡散流出の禁止）
16. その他の情報	
一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
略記	PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律